

2019年度 大泉名水会 第6回定例委員会議事録

1. 日 時 令和元年 10月6日(日) 午前9時～10時半
2. 場 所 東大泉地区区民館 地下第3会議室
3. 出席者
 - ①委員14人、水道技術管理者1名、顧問1名、事務所長1名が参加
 - ②参加者は下記の通り(欠席委員は下線)
 - 1区: 町田和昭(広報)、丸山徹雄(会計)
 - 2区: 染田屋茂(広報)、日比野裕二(庶務)
 - 3区: 沖本純子(会計)、根津隆正(副委員長)
 - 4区: 佐藤昭彦(環境)、茂野弘(広報)
 - 5区: 小島周一(委員長)、川津基(環境)
 - 6区: 野田万太郎(副委員長)、高橋章(管理)
 - 7区: 大栗道孝(管理)、安島敬(庶務)
 - 8区: 金本悟(庶務)、岩田建三(庶務)
村松一希(オブザーバー)、新井さん(技術顧問)
水野宏(顧問)、佐藤賢了(事務所長) 田澤穂(水道技術管理者)
4. 配布資料
 - ① 定例 2019-6-1: 大泉名水会 文書の保存年限表
 - ② 定例 2019-6-2: 大泉名水会
委員会と専門員・財務委員との連携の在り方
 - ③ 定例 2019-6-3: 名水会存続問題討議の切り口
5. 決定事項
 - ① 資料 6-1「文書の保存年限表」に沿って名水会所有の文書を調査・整理するための分科会を設け、文書の管理体系を定例会議で審議する。分科会メンバについては別途人選する。
 - ② 資料 6-2 の通り専門委員に代わる常任委員を設けて運営委員会メンバ(議決権なし)とし、常任委員と財務委員については来期の総会選出対象とする。
6. 議事模様
 - 6.1 報告事項
 - ① 事業報告(新規入会・退会・入金状況等)・・・佐藤所長より口頭報告
・新入会3世帯・退会1世帯。入金は81,000円。
 - ② 上半期収支進捗状況(4～9月)

収入 837 万円、支出 512 万円、経常収支 324 万円となり予定通り進捗中。

- ③ 事業計画通り 10/24-25 に地下水槽の滞留水解消のための配管切替改修工事を行う。
- ④ 設備の補修と点検は、③の改修工事後、10/26(土)の断水時に実施する。
- ⑤ 発電機・給水ポンプの操作訓練については 10/6(日)に実施するが、構内草刈りについては雨天のため延伸した。操作訓練の合間に 2 号井戸と現在の供給水の飲み比べも行う。

6.2 審議事項

① 大泉名水会 文書の保存年限表(資料 6-1)

一般企業の文書保管規定(法律に沿ったもの)を参考に名水会の運営に関わる文書類の保管年限を水野顧問がまとめて下さった。事務所の建替えのときに廃棄された資料もあり、その反省も含め保存に関する規定を明確にしたい。そこでキャビネット 2 本分の文書について調査・整理するための分科会を設け、文書管理体系を定例会議で審議する。水道事業は大変だから分科会を発足してしっかり管理すべきという意見もあり、分科会の発足と別途メンバの人選を行うことが了承された。

② 大泉名水会 委員会と専門員・財務委員との連携の在り方(資料 6-2)

専門委員会と財務委員会については平成 30 年 5 月総会で廃止決議をしたが、専門委員と財務委員は運営委員会(定例会議メンバ他)の別働部隊として協力してもらっていた。しかし各委員の高齢化に伴い、体制の見直しが必要となって来た。そこで将来を見据えた配管等の設備更新、本会自身の存続問題等の経営問題への取組み強化のため、専門委員に代わる常任委員を設けて運営委員会メンバ(議決権なし)とし、常任委員と財務委員については来期の総会選出対象とすることが了承された。

6.3 その他

① 名水会存続問題討議

討議資料(6-3)を基に各委員の意見を出し合った。次回に継続討議となった。

以 上

(書記：庶務委員 日比野裕二)

(委員長：小島周一)